

TAKADA トピックス

第67回 全国溶接技術競技会 最優秀賞受賞

2022年9月25日、青森県で開催された第67回全国溶接技術競技会に、小林 和樹さん（八幡支社）と井上 裕貴さん（八幡支社）が福岡県代表として出場しました。

各都道府県代表112名による熱戦の末、被覆アークの部において小林さんが当社初の「最優秀賞」を受賞し、念願の「溶接日本一」に輝きました。また、同部門で井上さんも優秀賞を受賞し、「溶接のTAKADA」の名を全国にとどかせました。

二人は2023年6月14日に東京ガーデンパレスにて開催された表彰式でそれぞれ表彰され、小林さんには経済産業大臣賞、産報出版株式会社賞も併せて授与されました。

なお、2023年2月に開催された福岡県大会の結果、小林さんは種目を炭酸ガス半自動溶接に変えて出場し見事優勝、炭酸ガス半自動溶接でも全国最優秀賞を目指します。井上さんも被覆アーク溶接で優勝し、小林さんに続いて最優秀賞を目指します。

小林さんの喜びの声

「最優秀賞受賞」の一報を聞いた瞬間は、「まさか自分が!？」と、とても驚きました。本大会に臨む中で課題改善に取り組み、溶接棒の交換のタイミングを変えるなど、これまでやったことのない新しい方法にも挑戦しました。臆せずにチャレンジしたことが実を結び、嬉しく思います。

当社には技能伝承の伝統があり、私は崎下 恵介さん（八幡支社）をはじめ、指導していただいた先輩方から受け継いだ技があつての日本一だと思っています。また、一緒に大会に出場した後輩の井上さんと共に切磋琢磨し、お互いの技能を磨いた成果でもあります。今後は新しい分野に挑戦するとともに、後輩たちに自分の技能や技術を伝えていくことにも尽力したいと思います。



福岡県の服部知事（写真左から2人目）を表敬訪問し、溶接日本一を報告（写真左端が小林さん）

また、全国溶接技術競技会優勝を受けて「溶接ニュース」誌に小林さんの「優勝者インタビュー」が掲載されました。該当記事を次ページに転載いたします。

全国競技会優勝者に聞く

被覆アーク溶接の部

高田工業所八幡支社(福岡県)

小林和樹さん



第77回全国溶接技術大会の被覆アーク溶接部が優勝した。その結果、高田工業所の小林和樹さんが被覆アーク溶接の部で優勝を勝ち取り、同社の代表として出場した。



手溶接の作業を行う小林さん

小林さんは、高田工業所の被覆アーク溶接の部で優勝した。その結果、高田工業所の小林和樹さんが被覆アーク溶接の部で優勝を勝ち取り、同社の代表として出場した。

小林さんは、高田工業所の被覆アーク溶接の部で優勝した。その結果、高田工業所の小林和樹さんが被覆アーク溶接の部で優勝を勝ち取り、同社の代表として出場した。

挑み続けてつかんだ日本一

練習覆す決断、本番目前に

小林さんは、高田工業所の被覆アーク溶接の部で優勝した。その結果、高田工業所の小林和樹さんが被覆アーク溶接の部で優勝を勝ち取り、同社の代表として出場した。



小林さんは、高田工業所の被覆アーク溶接の部で優勝した。その結果、高田工業所の小林和樹さんが被覆アーク溶接の部で優勝を勝ち取り、同社の代表として出場した。